

新型コロナウイルス感染症の発生状況（富山県、第48週）

富山県厚生部健康対策室、衛生研究所

令和5年 第48週分 11月27日～12月3日（12月6日時点速報値）

定点医療機関新規報告数：143人、定点医療機関当たり2.98人、新規患者推計値※：675人。

※推計方法：<https://www.pref.toyama.jp/1279/kurashi/kenkou/kenkou/1279/department/department1/covid-19.html>

図1. COVID-19週別発生動向の推移（富山県）

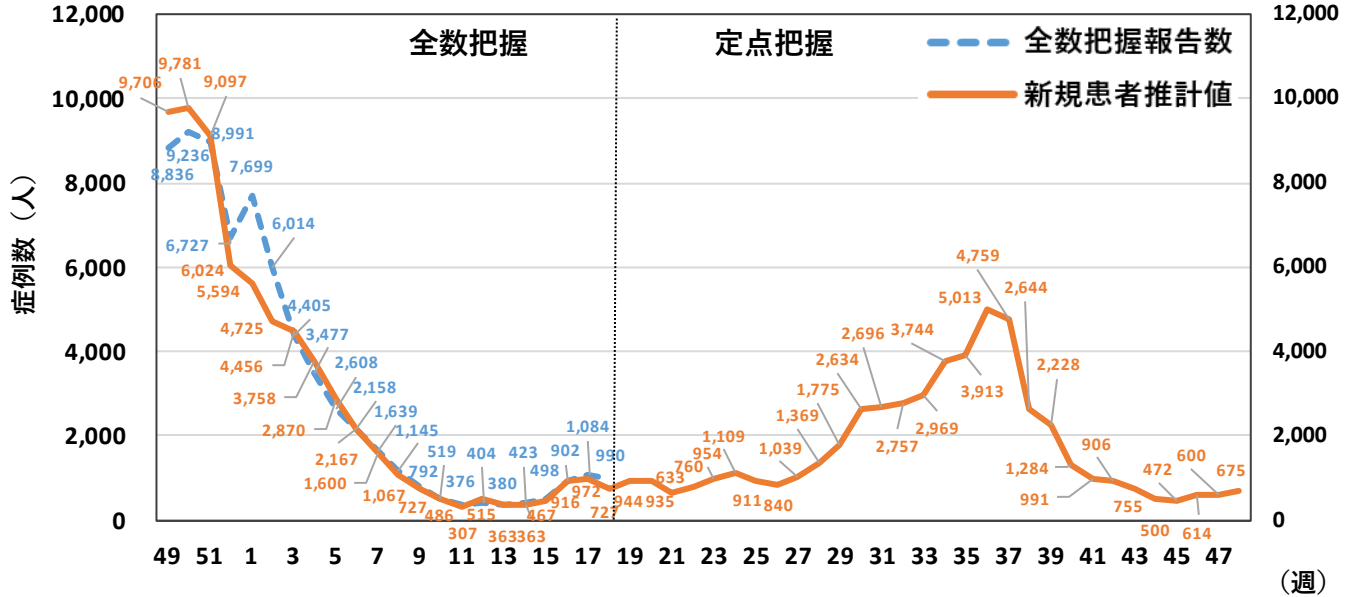


図2. COVID-19患者増減率（対前週、富山県） ※新規患者推計値から算出

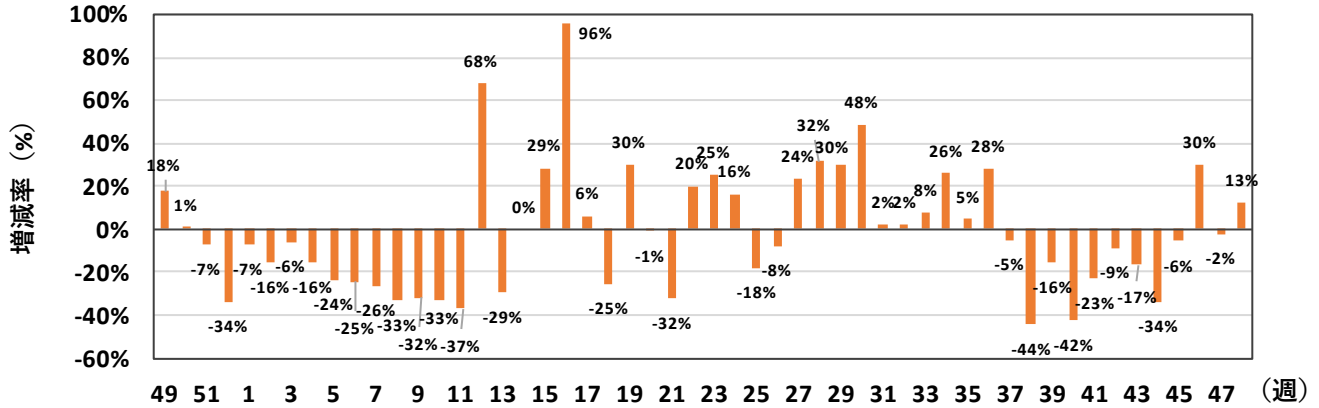


図3. 年齢階級別新規患者推計値（富山県、第48週）

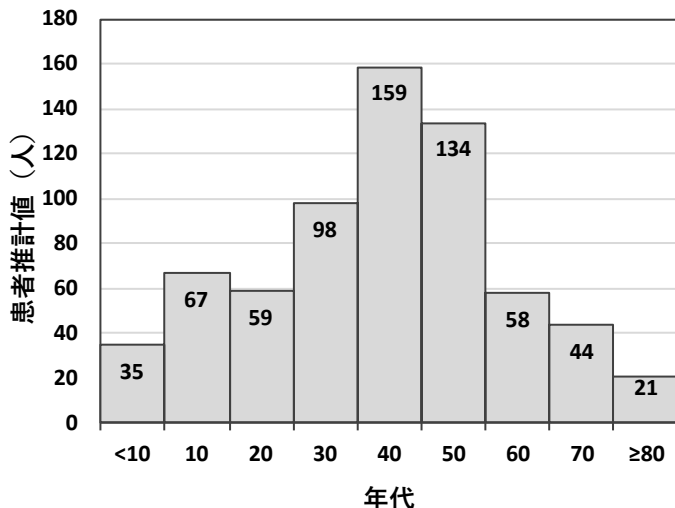


図4. 年齢階級別新規患者推計割合（富山県、第48週）

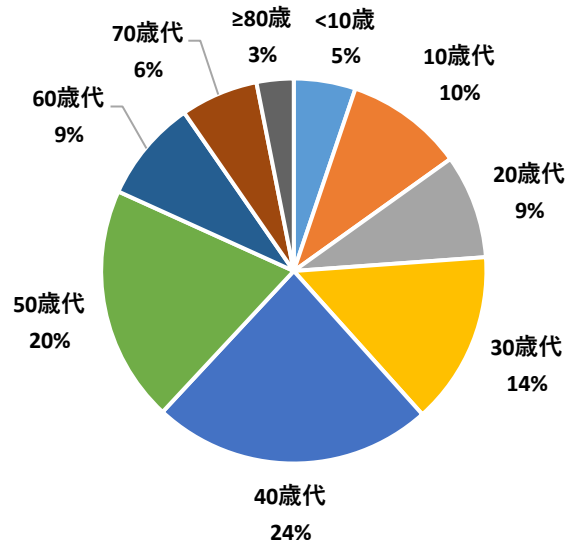


図5. 年齢階級別新規患者推計値の推移（富山県）

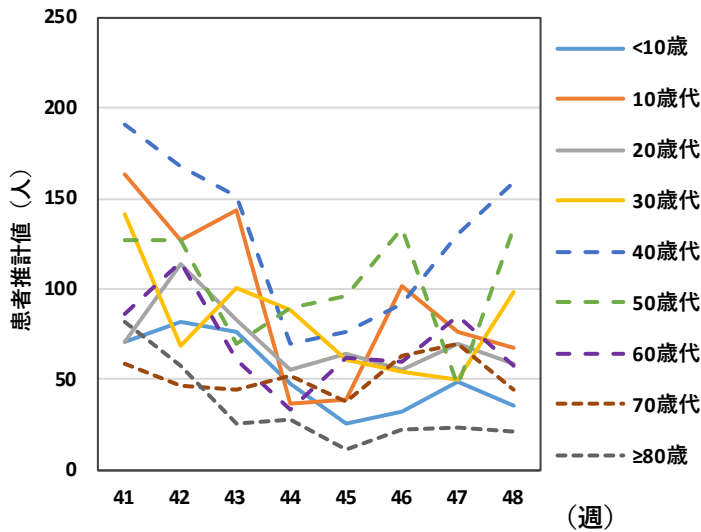
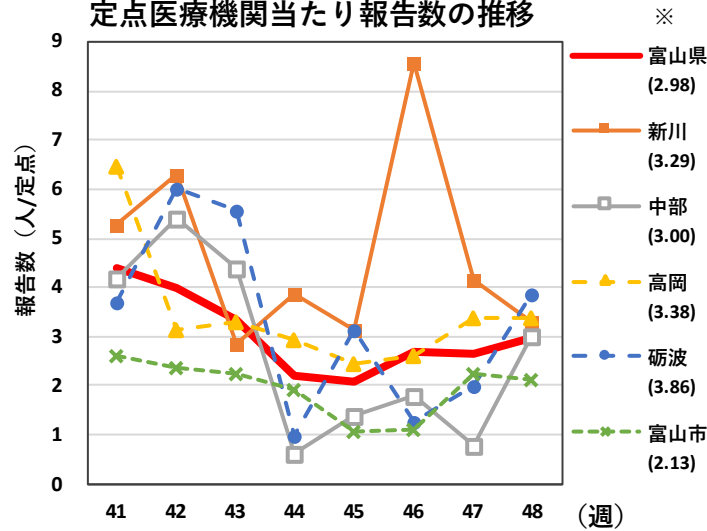


図6. 厚生センター・保健所管内別
定点医療機関当たり報告数の推移



※ () 内は今週の定点当たり報告数

図7.COVID-19入院サーベイランス
年代分布（第48週、9例）

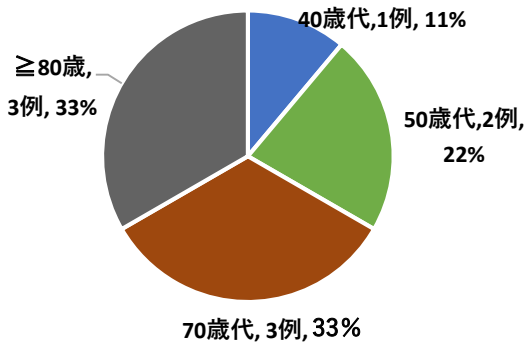
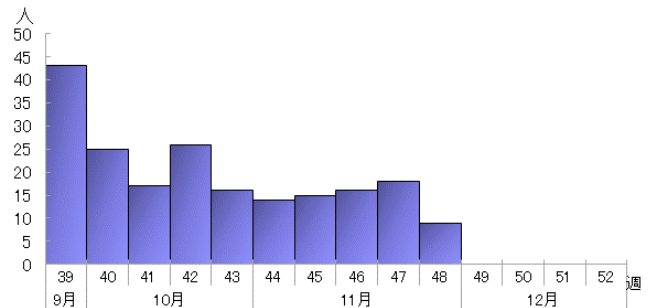


図8.COVID-19入院サーベイランス
患者報告数の推移（富山県）



第48週（11/27～12/3）時点での所見と評価

- 第48週の定点医療機関当たり報告数は2.98人、新規患者推計値は675人であった。前週推計値（第47週、600人）から13%増加した。（図1、2）。
- 第48週の年齢階級別新規患者推計値を図3、図4に示す。40歳代が最も多く24%を占め、次いで50歳代（20%）、30歳代（14%）の順に多くを占めた。60歳以上の割合は18%で先週（30%）から減少した。
- 年齢階級別推計値の推移を図5に示す。40歳代は第44週以降増加傾向である。30歳代、50歳代でも増加がみられた。
- 厚生センター・保健所管内別定点医療機関当たり報告数の推移を図6に示す。富山県全域で2.98人/定点であり、先週（2.65）から増加した。中部、砺波管内で増加がみられ、その他の管内ではほぼ横ばいであった。
- 県内5か所の基幹定点医療機関を対象とするCOVID-19入院サーベイランスでは、第48週に9例の入院報告があり、先週（18例）から減少した。年代分布は、70歳代が3例、80歳以上が3例で、70歳以上が2/3を占めた（図7、8）。
- 第45週まで減少傾向であった患者報告数が第46週および今週はわずかに増加に転じており、今後の発生動向を注視する必要がある。